



ロータリーの夢を 追い続けよう

1998-99年度 国際ロータリーのテーマ

第2560地区
 ガバナー——富山 富一
 会長——細井 増雄
 会長エレクト——長谷川 有美
 副会長——斎藤 弘文
 幹事——西山 徳厚
 副幹事——藤田 紘一
 S A A——高森 章仁
 副 S A A——五十嵐 寿一

例会日——毎週水曜日 12:30～
 例会場及び——三条市旭町2-5-10
 事務局——三条信用金庫本店
 例会場——TEL 35-3311
 事務局——TEL 35-3477
 FAX 32-7095

本日出席会員数	77名中 48名
先々週出席率	89.61%

ヴィジター

三条北RCより
 長谷川博一さん

先週のメイクアップ

5/31 三条南へ
 古沢富雄さん、長谷川有美さん、
 斎藤弘文さん、早川昭雄さん、
 渡辺勝利さん
 6/1 三条北へ
 五十嵐 力さん、広岡豊作さん、
 渡辺宏策さん



会長挨拶

細井増雄会長



ご挨拶申し上げます。三条北クラブの長谷川さん、ようこそいらっしゃいました。ごゆっくりお過ごし下さい。

夏が来たような暑さでございませう。上着を着て5分も歩きますと、汗ばむ気候となりました。6月になりまして、我々も最後の月が来たと言うこと、バトンタッチの時期が刻々と迫ってまいりました。あと一ヶ月宜しくお願い致します。

昨日、東京で日本DIY協会の総会がございまして、第一ホテルで約600名の出席で行われた訳でございませう。我々の業界では、金物屋の全国組織とかございませうが、600名も集まる総会は、日本DIY協会が一番多いようでございませう。

総会の終了後、NTVで16年間、毎晩11時より

キャスターとして活躍されておりました桜井よし子さんの記念講演がありました。評判の美人でありまして、さすがに美しい方でした。

「変革を迫られる日本」と云うことで講演された訳ですが、日本の教育、特に義務教育を変えないと変革は出来ないと云うことです。今の義務教育では国際社会に勝てない教育をしている、よくなるに差別をしない教育だそうです。皆が平等になる、差別をしない教育と言うことで、テストをしない学校が増えてきているそうです。通信簿も1、2、3とか付けられないし、運動会でも徒競走で1着、2着とか別けないそうです。本当のことかと確かめてみましたが、新潟県でもその通りだそうです。とにかく差別をしないことが、義務教育の基本だそうです。このように小学校では勉強で差をつけないので、皆、好き勝手な行動をする訳です。一番荒れているのは、小学校の高学年だそうです。又、我慢することも教わらないので、中学校へ行ってからキレる生徒が出てくる訳です。これでは、このような子供達が、将来の日本を背負って立つ時に、競争心がないようでは国際社会で生きていけないと言うことです。

大人になっても、護送船団方式などと言うことで、日本人は四方八方円満ならそれでよい。これでは国際社会で生きて行けないと言うことです。信長や秀吉や家康、そういう人達が日本を変えた時には、大変革を起しているわけですが、それらをきちっとやって、成功している訳です。又、明治維新にしても、長州の下級武士が断固たる勇気を持って変革したお陰で、今日の日本があるわけです。こういうことを考えますと、社会を変える勇気を持った人間がたくさん出てこない、日本は変わらない。そのためには、まず子供の教育から変えて行かなければならない。そして、大人は今の時代に満足するのではなく、皆が変わる勇気を持とう。そのような講演でございました。まとまった話しになりませんが、これにて挨拶を終らせて頂きます。

幹事報告

西山徳厚幹事

◎三条RC

6月9日(水) 例会場はVIPになりますのでよろしくお願い致します。

6月16日(水) より例会場通常通り信金になります。

◎三条市ふるさと運動推進協議会より

平成11年度定時総会開催のご案内がとどいております。

とき 6月16日(水) PM6:00~

ところ 二洲楼

◎三条南RC

6月7日(月) 例会場はVIPになりましたのでよろしくお願い致します。

ニコニコBOX



藤田紘一さん

渡辺会員卓話ありがとうございます。1年間プログラム委員会にご協力いただきありがとうございます。あと1ヶ月です。

榎本 勝さん

5月28日、土地家屋調査士会、県総会に於て東京法務局長より表彰状を頂戴して来ました。

渡辺喜彦さん

大変御無沙汰して居ります。出張、出張の連続でしたので。今日卓話よろしくお聞き下さい。

林 光輝さん

久しぶりにホームクラブに出席できました。

佐藤吉平さん

5月29日、30日、地区ローターアクト研修会が行なわれ、私の地区RA委員長としての仕事もだいたい終わりました。小柳さんにもご出席頂きありがとうございます。

岩井数央さん

BOX指定席に座りましたので。

小林英雄さん

ボックス委員が今年は入りが少なくとこぼしていますので、協力。

福井良英さん

ニコニコボックスに協力して。

高畑 昭さん

今日は早退させていただきます。誠に申しわけありません。渡辺会員の話を聞けず残念です。

荻根澤隆雄さん

都合により早退させていただきます。

五十嵐、佐藤、樺山さん

ボックス担当も今月が最後の月となりました。最後の御協力を御願い申し上げます。前年度比25%減です、がんばりましょう。

6月2日分 ¥ 16,000

今年度累計 ¥ 650,000

卓話

「病める日本をどうする。」

自分のやるべき事は何か？」

渡辺喜彦会員



この度、久しぶりに卓話の機会を頂戴いたしました。本日の卓話のテーマは、表記のとおりです。病める日本、と申し上げても何が病めているのか？とお考えの方もおいでも知れません。人はそれぞれ考え方も感じ方も違うのですから。しかし、私は「間違いなく日本の国は病んでいる」と断言申し上げたい。

今や我が国は、どこまで転落するかわからない状況下にあると非常に危惧しております。しかし、私は政治家でもなんでもありません。が、なんとかしないと大変な事になるという思いだけは、人一倍感じている一人であると自負しています。

先月の22日頃、中国へ行ってまいりました。北京の空港で成田で預けたトランクを待っております。ベルトコンベアーが回り初めてそれぞれが自分の席を取り、トランクの出るのを待っております。ところが、私の前に何も言わずいきなり断り無しで立たれた女性がありました。見てみると、日本人らしいので「彼方、誠に失礼ですが私が先にここに来て、今私の荷物が出てくるのを待っているんですがねー」と申し上げ、どこか空いている席でお待ちになるべきでしょう。後から来て人の前に立つとは非常に失礼ではありませんか。と注意をしますと、その女性曰く、「何よ、私がどこに立とうと勝手にしよう。だいたい彼方に言われること無いわよ」と切り替えられました。なんでもいから人の前に立つな！待つなら後ろに並べ！と一括入れました。

しぶしぶ、どこかに行きましたが、全く常識がなっていない人が大勢いるのです。私は非常に不愉快になり、こういう人々が大量海外に出かけて国際人としていろんな人と接触しているのだと考えただけで背筋がぞっとしたわけです。

さて、今日本の若者がなんでこういうふうになってしまったのでしょうか。それは、私の考えている事で申し上げますと、最大の原因は、家庭と学校の教育にあると考えます。

家庭では、子供の機嫌を取るために、今の時代はガミガミと言っても聞かない。仕方が無いんだ、と自分から、言うべきことも言わず、いいかげん

な妥協をしている父親、母親の方々がとおおすぎるのでは無いでしょうか。子供を叱るべき時にシッカリと叱らない。注意もしない。子供がどんな行動をしているのか。何時に帰ったのかも確認しない、という無責任さが大きな原因と考えるのです。また、もう一面として、学校教育です。

今、日本の教科書、特に小学校の教科書の中味をご覧になった方がどれだけいらっしゃいますか。手をお挙げください。孫の教科書をご覧になって内容をご存知の方。では、ご覧になられた方々、いかがでしょうか。全く問題がありませんでしょうか？

私は、大変問題があると思います。なぜかと申し上げますと、内容は、間違っただけが多いからです。事実でない内容をどうして子供たちに教えるのでしょうか。

私は、歴史が好きです。歴史の中には、人の生き様があります。いろいろな背景があります。それらを見るときに、読むときに、いろいろな角度からこの事の背景を考察いたします。

私達は、そのときに生きて立ち会ってはいませんが、立ち会った方やいろいろな方の考え方、見方を参考にしながら、正しく判断して行かねばならないと思います。

例えば

最も、問題視されている太平洋戦争です。真珠湾の奇襲攻撃について、アメリカは、大変日本を憎み、「パールハーバーを忘れるな！」と言い伝えているようですが、では何を本当にアメリカは怒っているのでしょうか。

多分、今の若者はほとんど知っていないと思います。

事実、開戦通告の遅れから「リメンバー・パールハーバー」という言葉を残され戦争の悲劇を招いたと申し上げて過言ではありません。

事実、最初から騙し打ちなどしようと考えたわけではありません。日本政府は、開戦(真珠湾攻撃)の25分前に宣戦布告するという考えでした。連合艦隊指令長官の山本五十六元帥や海軍軍令部総長の永野修身もそうするように言っていたとの事です。また、事実そうしたのです。

そして、暗号文でアメリカのワシントンにある日本大使館へ事前に電報を打電しました。ところが、その日ワシントンの日本大使館は、人事異動により送迎パーティーをしていたのです。大使館には、一人の宿直も居りません。翌日大使館員が出動してみると、日本の将来を左右する電報が、多くの電報に混じって入っていたのです。

戦争前のこの当時は、重要な電報は全て暗号でした。重要機密ということで、タイプライターの

専門化で無い上級書記官が慣れぬ手つきで暗号を解読し、タイプを打ち上げました。打ちあがったタイプは、野村吉三郎大使がアメリカの国務省に持ってゆきました。しかし、時すでに遅し。野村大使が出かけた85分前に真珠湾では爆弾が落ち、魚雷が発射されていたのです。これが日本の後世に残る悲劇の実態です。

戦後、政府も外務省も当時ワシントンの日本大使館に勤務していた彼らを、責任を明らかにせせず、追求もしませんでした。

むしろ、それどころか彼らの多くは出世したのです。もし、彼らをキチット処罰していたら「リメンバー・パールハーバー」の言葉は無かったかもしれません。

ですから、今の教科書から、消されてしまっている重要な事柄をわれわれは、もう一度見直して、子供たちに伝えて行かねばならないと思います。

そうしなければ、日本の誇りも、日本人としての誇りも何もなくなってしまい、何においても日本は、戦争の責任だけを追及されつづけ、堂々と胸を張った生き方や、諸外国の人たちと対等の付き合いが出来ない人間を造ってしまうこととなるのではないのでしょうか。

病める日本は、我々が作ってしまったのです。

今一度、我々は先人の輝かしい歴史を改めて学び直し、勇気と誇りある日本人として、子供たちに正しく伝え、事業や社会活動を通して訴えて行かねばならないと思います。

私も、こういうことを踏まえて今、出来ないながらも倫理を奨めたり、事業を通して社員の教育に当たっています。

今、正に“隗より始めよ”です。自分一人ではどうにもなりません。しかし、一人の力は、やがて大きな川となり、海となって行くでしょう。

どうか、社会奉仕を目的に集まったロータリアンの方々、今こそ最も我々が目指す事業はここにこそあるのではないのでしょうか。明日の輝かしい日本をめざして、一言私の思うことを申し述べさせていただきます。



例会案内

三条RC	6月23日例会	クラブフォーラム
	6月30日例会	会長、幹事慰労会 於 二洲楼

メイクアップをどうぞ

三条南RC	6月21日例会	クラブフォーラム
	6月28日例会	会長、幹事慰労会
三条北RC	6月22日例会	クラブフォーラム
	6月29日例会	会長、幹事慰労会
加茂RC	6月24日例会	クラブフォーラム
	7月1日例会	クラブフォーラム
燕RC	6月24日例会	新旧交替慰労会
	7月1日例会	クラブフォーラム
見附RC	6月24日例会	会長、幹事慰労会
	7月1日例会	クラブフォーラム